

2026年 2 月期

第 1 四半期決算補足説明資料

(2025年 3 月 1 日～2025年 5 月31日)

2025年 7 月

株式会社ジュンテンドー

(証券コード：9835)



2026年2月期第1Q：決算概要

1：農業・園芸、建築・DIY部門を中心に売上高好調

- ・期間を通じて好天に恵まれた結果、当社の軸である農業・園芸、建築・DIY部門が好調。一部夏物商品の需要も前倒しとなりました。

2：売上総利益率の改善

- ・2025年2月期より行っていた仕入れ値の見直し等の取組の結果、全社の売上総利益率は29.9%から30.5%と改善。

3：販管費は増加するも収入面でカバーし利益を確保

- ・新店西郷店の出店やエネルギーコストの増加により販管費は前年より増加する一方、上記、利益面の増加分で吸収することができました。



2026年2月期第1Q：損益計算書

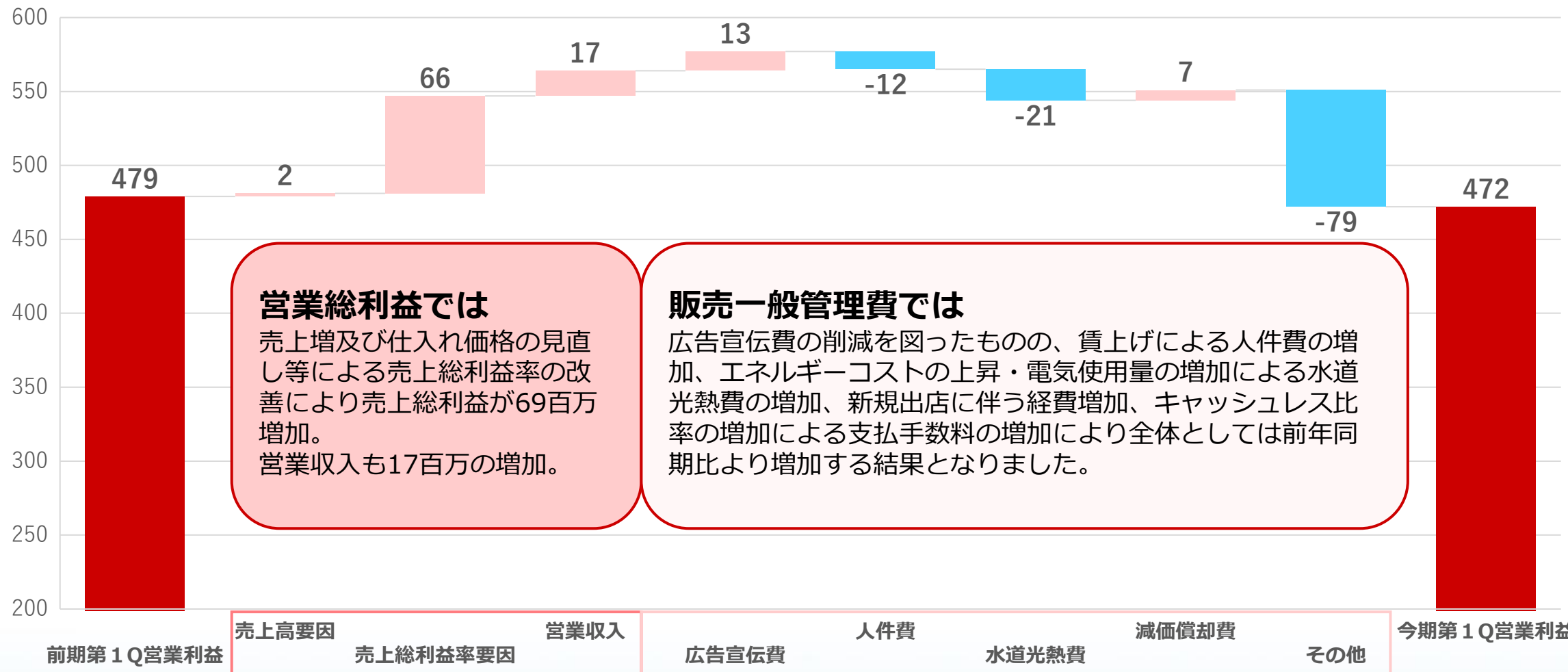
(単位：百万円)

	2025年2月期第1Q	2026年2月期第1Q	前年比
営業収益	12,218	12,245	100.2%
うち総売上高	12,003	12,012	100.1%
うち営業収入	215	233	108.3%
売上総利益	3,590	3,659	101.9%
営業総利益	3,805	3,892	102.3%
販売一般管理費	3,325	3,420	102.9%
営業利益	479	472	98.4%
経常利益	475	458	96.3%
四半期純利益	310	321	103.3%



営業利益の増減要因

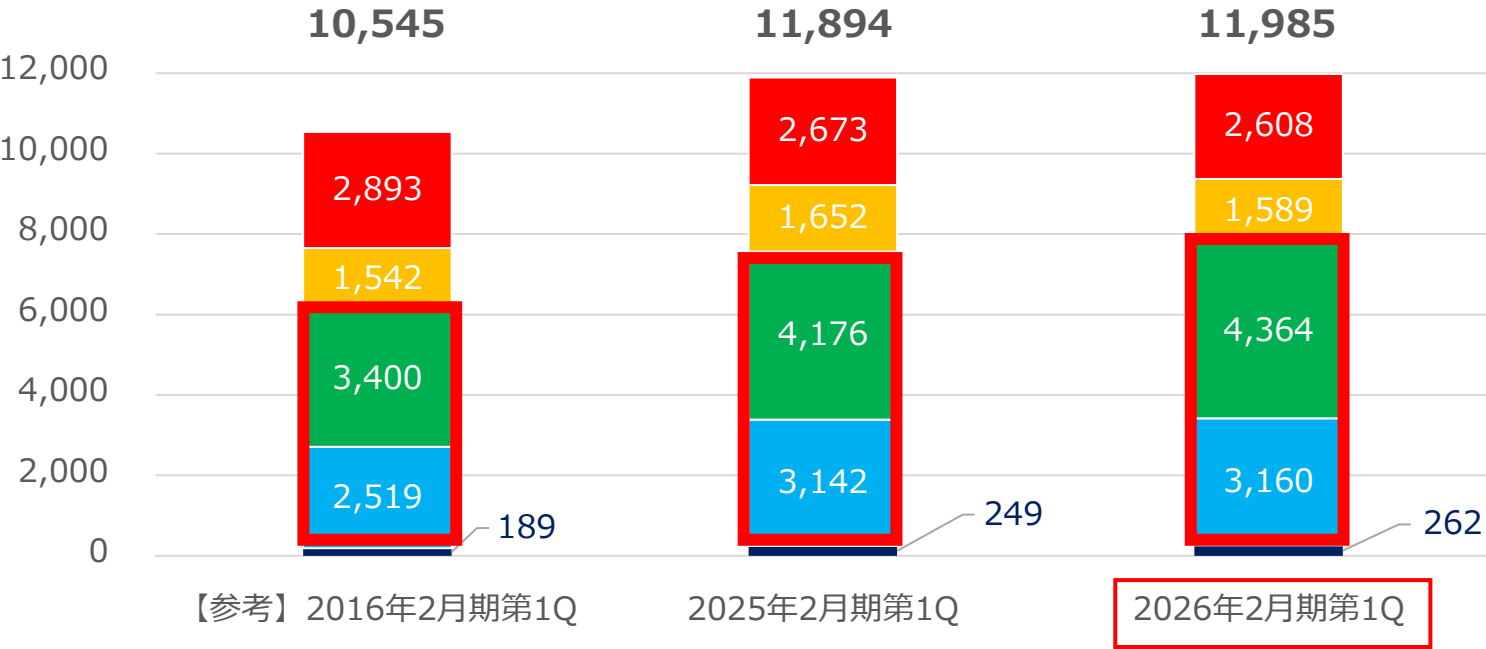
(単位：百万円)



売上高の状況①概要・構成比

(単位：百万円)

※ホームセンターのみの売上高



	【参考】 16/2期 第1Q 構成比	26/2期 第1Q 構成比
家庭雑貨・家庭電器	27.5%	21.8%
趣味・嗜好	14.6%	13.2%
農業・園芸	32.2%	36.4%
建築・DIY	23.9%	26.4%
その他 (灯油等)	1.8%	2.2%
計	100%	100%

10年前と比較すると、店舗の大型化と商品力強化の結果、農業・園芸、建築・DIY部門で成長

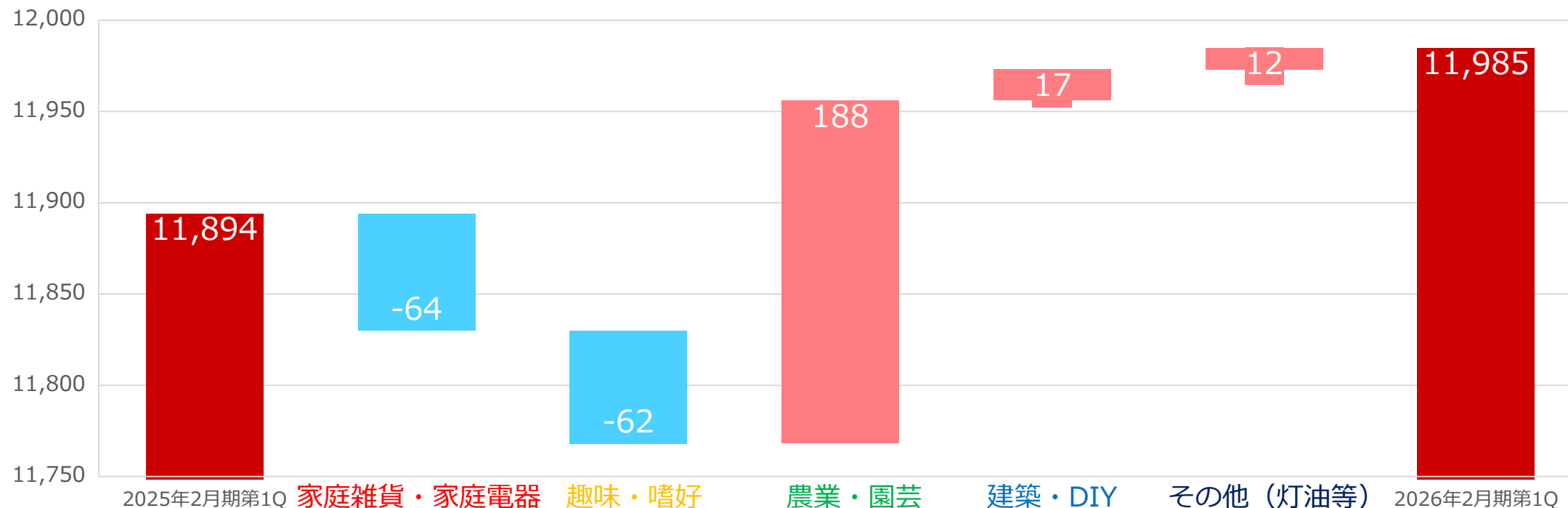
・ 農業・園芸、建築・DIY関連の商品力強化を行い、ホームセンターならではの商品の構成を強める。



売上高の状況②部門別の増減

(単位：百万円)

※ホームセンターのみの売上高

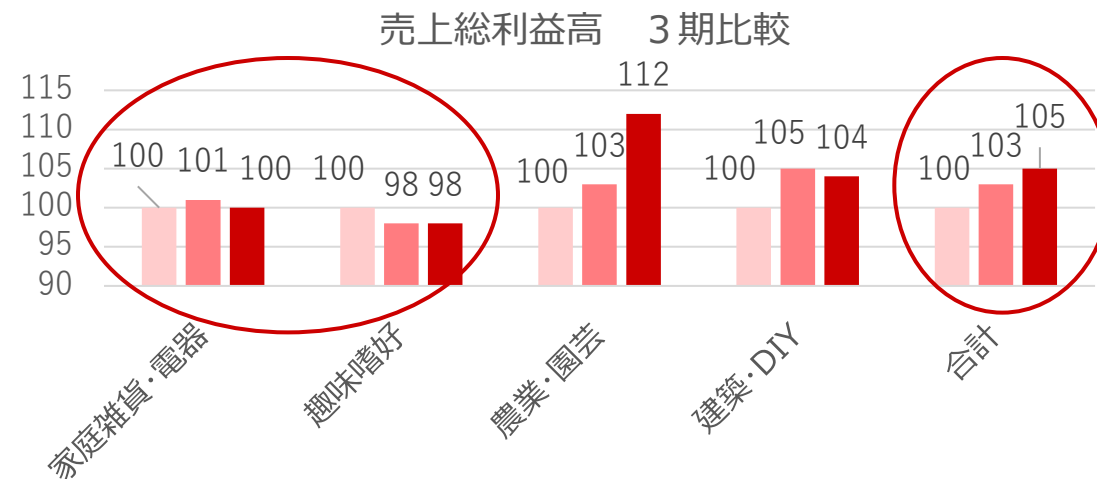
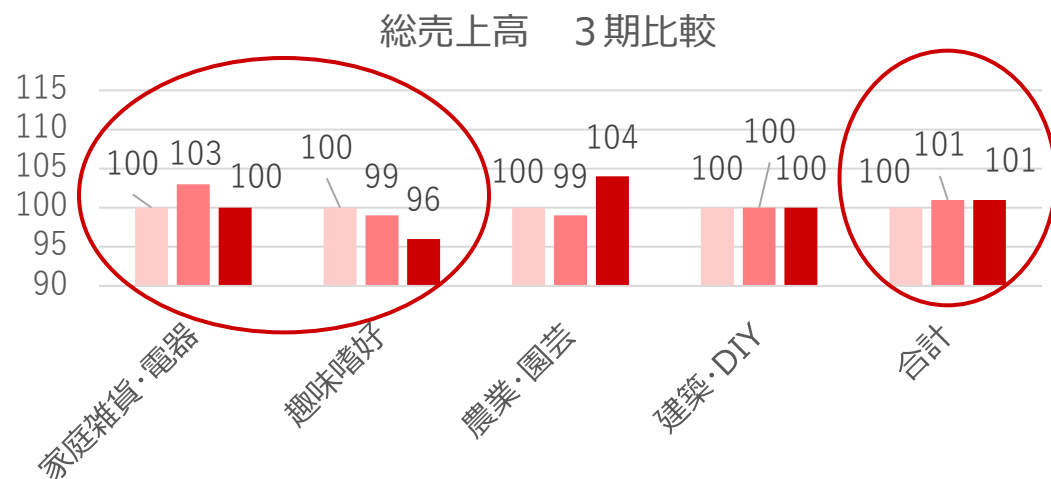


・全体では前年比91百万円の増となりました。
家庭雑貨・家庭電器では新生活・引っ越し需要の低迷と春先の低温による殺虫忌避剤の不調、
趣味・嗜好ではペット用品の値上げによる点数減が影響。
一方で天候には恵まれ、活動しやすい気候となり、当社主軸の農業・園芸、建築・DIYは好調となりました。
園芸植物の好調に伴い、農業用品では作物を守る防獣・防虫ネット、補修・塗料では防獣メッシュが好調。

総売上高・売上総利益高 前期比較

※いずれも2024年2月期第1Qを基準(100)として比較

※ホームセンターのみの売上高(灯油等除く)



■ 2024年2月期第1Q ■ 2025年2月期第1Q ■ 2026年2月期第1Q

■ 2024年2月期第1Q ■ 2025年2月期第1Q ■ 2026年2月期第1Q

- ・ 2025年2月期より仕入れ値の見直し等を中心に利益面での改善の取組を行った。
結果として総売上高で見ると前期より減少した部門も、売上総利益では前年並をキープ。
全体としても売上総利益を伸ばす結果となる。



2026年2月期第1Q：貸借対照表

(単位：百万円)

		2025年2月期末	2026年2月期第1Q	前期末増減	
資産の部	流動資産	15,940	17,274	1,334	資産の部 主な増減要因
	うち 現金及び預金	1,279	2,141	862	
	うち 商品	13,722	13,827	105	現金及び預金 +862
	固定資産	22,928	25,254	2,326	受取手形及び売掛金 +335
	うち 有形固定資産	17,573	19,396	1,823	建物及び構築物 +844
	うち 無形固定資産	296	301	5	土地 +1550
	資産合計	38,869	42,529	3,660	
負債の部	流動負債	13,269	15,417	2,148	負債の部 主な増減要因
	うち 短期借入金	500	700	200	
	うち 一年内返済予定の長期借入金	3,794	3,863	69	支払手形及び買掛金 +270
	固定負債	12,674	13,948	1,274	電子記録債務 +1511
	うち 長期借入金	9,395	10,725	1,330	借入金 +1599
	負債合計	25,943	29,366	3,423	
	純資産合計	12,925	13,162	237	純資産 主な増減要因
	負債・純資産合計	38,869	42,529	3,660	四半期純利益 +321
	自己資本比率	33.3%	31.0%	-	余剰金の配当 -81



出店の状況：最新の出店状況

2026年2月期第1四半期末時点の状況

店舗数	120店舗
店舗数増減(前期末比)	2店舗減 (内BC1店舗)
総売場面積	253,817㎡
売場面積増減(前期比末)	244㎡減



出店の状況：新店・改装店①

◆新店：西郷店（島根県隠岐の島町）



当社の経営理念である、

「地方都市、中山間地、離島のなくてはならないインフラになるろう」のもと、約37年に渡り、同地で営業を続けていた西郷店の移転増床を行いました。

旧店の倍程度の売り場面積となり、島内のお客様の普段の生活はもちろん、プロのお客様のニーズにも応える品揃えと在庫量を持つことが可能となりました。

また、JAしまねとの業務提携に伴い、JAマーク商品の取り扱いを行っております。

開店

2025年4月9日

売場面積

3,988㎡（1,206坪）



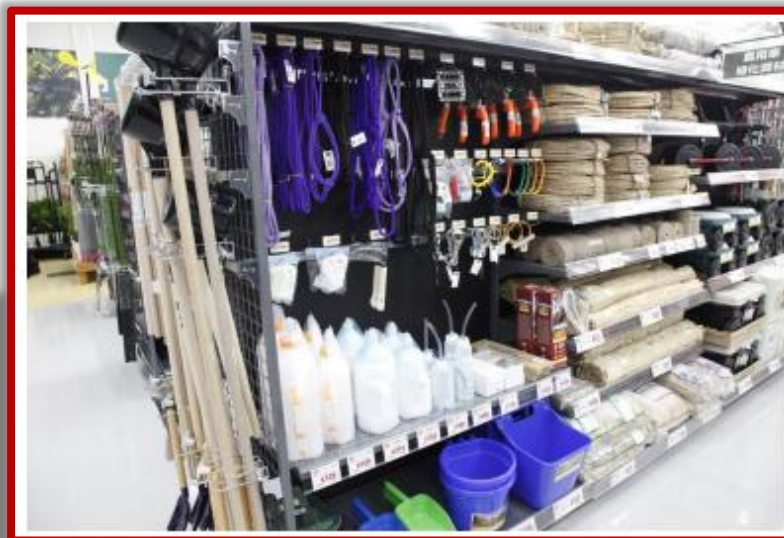
出店の状況：新店・改装店②

◆西郷店売場写真



JA商品の取り扱い

プロの支持を集める
メーカー製品の取り扱い



畜産資材など地域ニーズに応える品揃え

JA尾道市との協業①



2024年9月に全国農業協同組合連合会（以下「JA全農」）と締結を行った「営農用資材の取扱いについての包括連携協定」に基づき、当社は、尾道市農業協同組合（以下「JA尾道市」）、全国農業協同組合連合会広島県本部（以下「JA全農ひろしま」）との間で売買基本契約を締結し、JA尾道市の管内におけるジュンテンドーの一部店舗で営農用資材の取扱いを開始致します。

JA尾道市は尾道市、世羅町、瀬戸内海の島しょ部の一部地域を管轄しております。

調印式は2025年6月19日に行われました。



JA尾道市との協業②



調印式の様子

6月19日にJA尾道市、JA全農ひろしま、当社の間で締結。



協業売場イメージ

※JA全農ひろしま管内で協業を開始している店舗の様子
※JA尾道市管内の店舗ではございません

JAとの連携は、各社のもつ経営資源やノウハウを相互に有効活用し、地域の農業を支える基盤として、より高い機能を具備した協力関係の構築を目的としています。

2026年2月期業績予想

(単位：百万円)

	2026年2月期 中間期予想	2026年2月期 通期予想	営業収益比 (通期)	前期比 (通期)	2025年2月期 実績
営業収益	23,600	44,500	100.0%	100.3%	44,376
営業利益	750	480	1.1%	101.7%	472
経常利益	700	400	0.9%	87.3%	458
当期純利益	400	100	0.2%	65.8%	152

- ※ 1 中間期予想は2025年4月11日決算短信において公表した予想を、
2025年7月8日付で修正開示を行っております。
通期予想に関しては2026年2月期期初の業績予想より変更ございません。
- ※ 2 業績予想は現時点で把握可能な情報から判断した仮定に基づくものであり、
経済動向や市場環境などに関わるリスクや不確実性を含んでおります。
そのため、実際の業績は当社の見込みと異なる可能性があります。

